

UNIXサーバー版 バージョンアップ内容 (Ver6.00R01 → Ver6.00R02)

2003年5月30日
パナソニック ソリューションテクノロジー(株)

・UNIXサーバー版が Ver6.00R02 にバージョンアップされました。
変更点は以下のとおりです。

不具合修正

GlobalMail

up_815240	配布コードの登録で、所属がグループのものを作成できるように修正しました。
up_815260	配布コードの参照で、配布コードのメンバーが複数登録してある場合に、動作が止まってしまう不具合を修正しました。
up_815340	配布コードのメンバー登録時に、エラーが発生したメンバーの情報が表示されない不具合を修正しました。
up_815240	配布コード更新で名称の変更ができない不具合を修正しました。
up_815260	配布コード参照で所属名称が返ってなかった不具合を修正しました。
up_815240	配布コードの登録で、所属区分が「全ユーザ」の配布コードは、「システム管理者」のみが登録可能に修正しました。
up_815240	配布コードの登録で、所属区分が「グループ」の配布コードは、「システム管理者」と「グループ管理者」のみが登録可能に修正しました。

GlobalForum

up_e430	フォーラムのスレッド表示で、階層が深いデータを前ページ検索するとメモリーエラーが発生する不具合を修正しました。
---------	---

GlobalFlow

up_f971 up_f972	メールインスタンスの表示が不正になるケースがある不具合を修正しました。
--------------------	-------------------------------------

GlobalSchedule

up_81a461	ユーザー管理画面でコードを参照する際、参照権が無くても参照できてしまうことがある不具合を修正しました。
up_81a360	スケジュールモード参照したとき、セキュリティリスト全般で管理地域名称が表示されない不具合を修正しました。
upcom	予約承認後のスケジュールを予約管理者以外のユーザーが更新できてしまう場合がある不具合を修正しました。
up_81a860	GlobalSyncを使用した際、手入力の場所・施設が重複して表示される不具合を修正しました。(情報要求フラグのON/OFFの組み合わせにより発生)
up_81a860	参照情報の要求フラグ(ユーザ、場所施設など)のフラグのOn/Offによって、表示される情報が異なっていた不具合を修正しました。
up_81a860	予約管理スケジュールに会議開催スケジュールを登録すると、予約管理者が否認できないときがある不具合を修正しました。

SMTP-GW

unixtopios	文書名のデコードでSMTPゲートウェイが異常終了することがある不具合を修正しました。
unixtospool	外部からのエラー返送メールなどで送信元(From:)が空白の場合、sendmailからのSMTP-GW起動失敗でsendmailで“Invalid Argument”のエラーが出る現象を修正しました。空白の場合“<”を挿入します。

サーバー間通信

pp_receiver	他管理地域から転送されたメールで、メールヘッダー情報の送信者(From)に宛先(To)のメールアドレスが設定されることがある不具合を修正しました。また、宛先(To)にインターネット中継ユーザーのメールアドレスが設定されることがある不具合を修正しました。
-------------	--

仕様変更

GlobalMail

up_815270	配布コード一覧で、システム管理者の表示範囲を変更しました。所属区分がユーザー/グループでは、今まではすべてのユーザー/グループ情報を参照していましたが、自ユーザー/自グループの情報だけになります。参照できなくなった箇所は「全て」で参照できます。
-----------	--

GlobalFlow

up_fb30

ワークフローで処理依頼メールを送信する場合に、ユーザーのメール設定で使用するメールタイプを、POP3/IMAP4に選んだ場合、直接メールサーバーにメールを送信していましたが、サーバー環境設定ファイル(server.ini)に設定されているワークフロー用ゲートウェイ設定(SMTP_NAME,SMTP_NO)が未設定ならSMTPゲートウェイ経由で送信するように変更しました。